



2026年5月28日

各位

会社名 ブロードマインド株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 清
 (コード番号：7343 東証グロース)
問合せ先 財務経理部長 石井 満
 (TEL 03-5459-3092)

5/26 (火) 開催 IRTV Live 個人投資家向けオンライン会社説明会 動画公開・質疑応答集

2026年5月26日に開催した IRTV Live 個人投資家向けオンライン会社説明会の動画公開、ならびにセミナー内にて皆さまより頂戴したご質問とその回答内容を以下の通りお知らせいたします。本開示は市場参加者の理解を深めることを目的として実施するものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

■動画はこちらよりご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=mF-gwqcou0I>

■ご質問とその回答

Q1：「相続税が払えなくて相続放棄する」ということが最近話題になりましたが、いかがでしょうか？

A1：相続の問題は非常に難しいテーマです。実は財産がそれほど多くないご家庭のほうが、兄弟間などで揉めるケースが多いため、事前の対策をしておくことが本来は望ましいです。一方で、多額の借金が残されたために、それを背負いたくないという理由で相続放棄を選択される方もいらっしゃいます。どのような経緯で放棄に至ったかなど、個別の事情についてはぜひ一度ご相談いただきたいと思います。

Q2：B2B サービスの「お金の EAP (従業員支援プログラム)」や「金融教育 (プロੱこり)」は素晴らしい取り組みですが、現時点ではまだ種まきの段階で、業績への貢献は先になりそうです。本当に収益の柱として黒字化できる目処は立っているのでしょうか？

A2：既に SCSK 様や日清食品様、1 万人規模の大手不動産会社様などで導入いただいております。実際に収益も出始めています。昨今、従業員のお金に対する不安が副業や転職などの人事課題に直結することが多く、人的資本経営の観点から企業からの期待は高まっています。金融教育を通じて個別相談へスムーズに繋げることができれば、レベニューシェアのない (利益率の高い) 顧客獲得が可能になるため、(自社案件創出による) 収益の柱として期待しています。

Q3：今回の配当方針の変更 (増配・中間配当) に踏み切った、社長のリアルな背景や熱い思いを教えてください。

A3：今後ストック型の収益構造を目指していく中で、一時的に減益の予想となるため、株主の皆様をがっかり

させたくないという強い思いがありました。その中で当社ができることとして増配を決定し、さらに「当社のことを忘れず、これからも応援していただきたい」という気持ちを込めて、中間配当の実施を決断いたしました。

Q4：今後、競合他社との優秀なFP（ファイナンシャルプランナー）の引き抜き合いや人件費の高騰により、利益率が圧迫されるリスクについてはどうお考えですか？

A4：引き抜きによるリスクはあまり心配していません。当社のコンサルタントは自身で新規開拓をするのではなく、会社側で見込み客を提供する仕組みで動いています。また、フルコミッション型の他社は手数料体系の変更などで今後より厳しい環境になる上、当社はチームワークが良く離職率も低いため、お金だけで動く傾向は少ないと考えています。利益率の圧迫については、AIを活用して業務効率を上げることで利益率の向上を狙い、AIの進化に合わせて採用方針も柔軟に変えていく予定です。

Q5：御社の株価を上げるために、どのような対策を考えておられますか？

A5：AIを活用して徹底的に利益率の向上を目指すことと、ストック収益を積み上げていくことです。利益率やROEを高める努力をひたすら続け、2030年までに利益率17%超という目標を達成するとともに、株主の皆様への還元をしっかりと継続していくことが重要だと考えています。

以上